

年月日	氏名
昭和43年3月7日	Mr. Paul R. Deuster, Fellow, Midwest Universities Consortium; Department of Economics, University of Wisconsin, Madison, Wisconsin, U.S.A.
昭和43年3月11日	Prof. Solomon B. Levine, Labor and Industrial Relations, Director, Center for Asian Studies, University of Illinois, Urbana, Illinois, U.S.A.
昭和43年3月18日	M. L. Boonlua Kunjara Debayasuvarn, Ministry of Education, Bangkok, Thailand Dr. Nihar Ranjan Ray, Director & Professor, Indian Institute of Advanced Study, Simla, India

8 関係者往来

氏名	出発	帰国	行先
川口桂三郎(京大・農・教授)	43. 1. 7	43. 2. 7	タイ, インド, 香港
久馬一剛(京大・東南ア研・助教授)	43. 1. 7	43. 3. 30	タイ, インド, セイロン
高谷好一(京大・東南ア研・助教授)	43. 1. 7		タイ, インド, セイロン
野口英雄(京大・大学院・工)		43. 1. 11	インドネシア
石井米雄(京大・東南ア研・教授)		43. 1. 18	アメリカ合衆国, 西ドイツ, オランダ, イギリス, オーストリア, フランス
本岡武(京大・東南ア研・教授)	43. 1. 25	43. 2. 1	アメリカ合衆国
岩村忍(京大・東南ア研・所長)	43. 2. 2	43. 2. 14	オーストラリア, ニュージーランド
本岡武(京大・東南ア研・教授)	43. 3. 31		フィリピン, インドネシア, マレーシア, タイ

あとがき

本特集号は京都大学東南アジア研究センターが主催した農学関係の第3回目のシンポジウムの成果を編集したものである。

本号の内容は実質的には二つの部門よりなっている。一つは京都大学関係者が昭和38年に始まった当センターの第1期5カ年計画のなかで行なった研究、調査のまとめと学外の方々のコメントである。ご覧のごとくわれわれの研究は未だ対象領域は狭く、研究の深度も浅い。関心ある方々の今後のいっそうの御鞭撻と御協力をお願いしたい。他の一つは農業技術協力に関するものであって、指導、研究、調査、教育の面に対する、学外の権威ある方々の貴重な意見を広く包含している。これは東南アジアの農業技術問題に関するわが国の現時点での考え方を代表するものとしてきわめて貴重であろう。

本号の編集にあたり、はしがきにも述べたとおり、すべて論文の形式をとった。そのためコメントの方々に御発言について改めて御執筆の労をわずらわし、誠に恐縮にたえない。

最後に本シンポジウムの開催を発議し、運営に種々便宜を与えられた岩村忍所長、小林章前農学部長、本岡武教授、石井米雄教授をはじめセンター事務局に厚く御礼を申し上げる。

(川口桂三郎)